



# 議会だより

No. 95

発行日 2023年(令和5年)5月1日  
発行 丸亀市議会  
編集 広報広聴委員会  
TEL(24)8828  
市ホームページ  
<http://www.city.marugame.lg.jp/>

## 黄色と青の競演

撮影者:村上敏則さん

撮影場所:飯山町



## 3月定例会 2月27日~3月24日

### 主な内容

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| ●特集1 新年度予算…………… 2  | ●総括質疑……………12        |
| ●特集2 学生と考える…………… 4 | ●委員会審査・議会の動き……………20 |
| ●定例会・議案の内容…………… 6  | ●市内視察……………22        |
| ●質疑…………… 8         | ●議員提出議案・審議結果……………23 |
| ●代表質問…………… 9       | ●プラスチックごみ問題・編集後記…24 |

議会だよりは資源保護のため、再生紙を使用しています。

注目の新事業は!!

学校給食費公会計事業費 3億9,513万8千円

市内の公立小中学校に就学する児童・生徒の給食費を無償化し、子どもたちの成長を支えることで、安心して充実した食の環境を整える。



出産・子育て応援交付金事業費

9,949万8千円

すべての妊婦と子育て家庭が安心して出産・育児できるよう、伴走型相談支援と経済的支援を実施する。

出産応援給付金：妊娠届の際の面談実施後、妊婦一人当たり5万円

子育て応援給付金：出生届から乳幼児全戸訪問の間の面談実施後、新生児1人当たり5万円(交付対象者は、出生した子どもを養育する者)



空き家活用型サテライトオフィス等整備事業補助金

1,200万円

県外事業者が市内の空き家を事業所として改修する際、経費の一部を補助する。



北消防署新訓練塔兼資機材保管庫整備事業費

4億7,223万7千円

傾斜救助訓練や煙道検索(搜索)訓練など新たな訓練内容に対応した施設を整備し、さらなる救助・救出体制の強化を図る。



せとうち留学促進補助金

200万円

県が実施する公立高校の全国募集で中讃圏内に進学する生徒へ留学に係る費用を補助する。



ごみ袋特小サイズ製作費

118万6千円

ライフスタイルの変化に合わせた特小サイズのゴミ袋の導入により利便性の向上を図る。

特小(まち付き):1枚15円(縦50cm×横26cm)



グリーン・モーヴィ運営事業

2億3,000万円

コミュニティパーク「Grüün」や、子どもが発達段階に応じて安心して遊べる「Mooovi」をオープンし、ポートルースまるがめのイメージアップと地域貢献に努める。



こども医療費助成事業

8,000万円 拡充

保険診療にかかる自己負担分が無料になる子どもの対象年齢を3年間延長し、満18歳に達する日以降の最初の3月31日までに拡充する。

特集

1

# 2年連続過去最大 令和5年度予算

## 一般会計584億円

数多くの新事業が提案され、この1年のまちづくりが議論されました。

論点  
1

### ゼロカーボンシティ

ゼロカーボンシティの実現に向けた具体的な取組みは。

答え

既存の再生可能エネルギー導入に対する補助制度に、ZEH化やEV車の購入など補助メニューを追加し、さらなる促進に努める。また、定住自立圏域内の2市3町と連携し、市民や事業者の理解や認知度を向上させる。

論点  
2

### 市費講師

市費講師増員への考えは。

答え

市費講師を活用した教科担任制の導入により、学級担任に心と時間のゆとりが生まれ、子どもと向き合う時間が増え、授業や行事を充実させることで、いじめや不登校の未然防止に繋がる。

論点  
3

### 住宅用火災警報器

本市の住宅用火災警報器の設置割合と設置促進の施策は。

答え

設置状況は57.6%と低い。これまでのチラシ等による取付促進効果は低いことから、高齢者世帯への給付を考えている。

論点  
4

### コミュニティバス

コミュニティバスの利用促進への対策は。

答え

利用促進キャンペーンとして、月1回の無料の日の設定と75歳以上の高齢者の無料化を考えている。

# どうする？ どうなる？

特集  
学生と考える

## 丸亀高校 2/2(木)



### 1 交通

- 公共交通無料キャンペーンを定期的に開催してほしい。
- 街灯やカーブミラーが増えるといい。
- 駅前駐輪場の拡充を。
- 登下校の小学生を避けて自転車が走るなど、危険な時間帯がある。



### 2 子ども

- 海外の姉妹都市との交流を活発にしたい。
- 制服などのジェンダーレス化を進めたい。
- 学校の授業で、CO2削減の学習をしてはどうか。

### 3 市の活性化

- 施設のオープニングイベントなどで、地域を巻き込んで盛り上げてほしい。
- 観光施策にスポーツの活用を。
- 高校生ボランティアをどんどん活用してほしい。



### 意見交換会はどうでしたか？

- ためになった ……87.5%
- どちらとも言えない ……12.5%
- 良くなかった ……0%

### 再度開催するなら…？

- 校内開催なら参加したい ……25.0%
- 校外開催でも参加したい ……62.5%
- 多分もう行かない ……12.5%



# 未来の丸亀

特集  
2 学生と考える

丸亀市の気になること…今年も学生たちと話し合ってきました！

## 丸亀城西高校 1/17(火)

特集  
学生と考える



- 1 若者が住みやすいまちにしたい!!**
- 街灯を増やしてほしい。
  - 南部に公園を作してほしい。
  - コミュニティバスのダイヤが登下校に不便。
  - 納得いかない校則を一緒に変えてほしい。
  - J Rも琴電も遠い地域に駅を作してほしい。



- 2 商店街を発展させたい!!**
- 店舗の誘致など、若者の意見を取り入れてほしい。
  - イベントや店舗に、若者とお年寄りが集まる雰囲気。
  - 学割など、学生が気になる情報をマップにして学校へ配布してほしい。
  - 市が店舗を支援して、若者に還元してほしい。

- 3 議員と関わる場を!!**
- SNSで情報発信してほしい。
  - 「何がしたいのか」「何を変えたいのか」 TikTokで流してほしい。



### 意見交換会はどうでしたか？

- ためになった……………100%
- どちらとも言えない……………0%
- 良くなかった……………0%

### 再度開催するなら…？

- 校内開催なら参加したい ……84%
- 校外開催でも参加したい ……16%
- 多分もう行かない……………0%



## 3月定例会 2月27日～3月24日(26日間)

- 2月27日
  - ・ 議案第1号～14号  
(令和4年度関係議案)
  - 提案理由の説明・質疑・討論・採決
  - ・ 議案第15号～42号  
(令和5年度関係議案)
  - 提案理由の説明
  - 予算特別委員会の設置
- 3月1日
  - ・ 代表質問(志政会、市民クラブ、公明党)
  - 2、3、6、7日
  - 総括質疑
  - 8日
    - ・ 教育民生委員会
    - ・ 都市環境委員会
- 9日
  - ・ 総務委員会
  - 10、13～16日
  - 予算特別委員会
- 24日
  - ・ 議案第15号～42号
  - 委員長報告・討論・採決
  - ・ 議案第43号～51号
  - 提案理由の説明・質疑・討論・採決
  - 諮問第1号
  - 提案理由の説明・討論・採決
  - ・ 議員提出議案第1号
  - 提案理由の説明・質疑・討論・採決

## 議案の内容

市長から、こんな提案がありました。

### 令和4年度関係議案

- ▼ 議案第1号 一般会計補正予算(第7号)
- ▼ 議案第2号 国民健康保険特

### 別会計補正予算(第2号)

- ▼ 議案第3号 国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第4号 駐車場特別会計

### 補正予算(第1号)

- ▼ 議案第5号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第6号 介護保険特別会計補正予算(第3号)
- ▼ 議案第7号 介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第8号 下水道事業会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第9号 モーターボート競走事業会計補正予算(第3号)
- ▼ 議案第10号 次世代育成基金条例の制定
- ▼ 議案第11号 うちの港ミュージアム条例の一部改正
- ▼ 議案第12号 工事請負変更契約の締結(丸亀城常曲輪石垣解体等(その2)工事)
- ▼ 議案第13号 工事請負契約の締結(北消防署新訓練塔新築工事)

締結(北消防署新訓練塔新築工事)

制限付き一般競争入札により、株式会社丸井工務店と仮契約を締結したため、議会の議決を求めらる。

▼ 議案第14号 市道路線の変更及び認定

市道国友入領線を変更するとともに、国友南北線ほか12路線を新たに市道として認定する。

### 令和5年度関係議案

- ▼ 議案第15号 一般会計予算
- ▼ 議案第16号 国民健康保険特別会計予算
- ▼ 議案第17号 国民健康保険診療所特別会計予算
- ▼ 議案第18号 駐車場特別会計予算
- ▼ 議案第19号 後期高齢者医療特別会計予算
- ▼ 議案第20号 介護保険特別会計予算
- ▼ 議案第21号 介護保険サービス事業特別会計予算
- ▼ 議案第22号 下水道事業会計予算
- ▼ 議案第23号 モーターボート競走事業会計予算

▼議案第24号 個人情報保護法  
施行条例の制定

個人情報情報の保護に関する法律の改正に伴い、既存の条例を全部改正する。

▼議案第25号 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

時限的措置として一般財団法人丸亀市観光協会に人的援助を行うため本市職員を派遣できるよう所要の改正を行う。

▼議案第26号 市民福祉医療費助成条例の一部改正

こども医療費の助成対象を満18歳に達する日以後最初の3月31日までに拡充するため、所要の改正を行う。

▼議案第27号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

安全計画の策定に係る規定の追加および懲戒権関係規定の削除を行うとともに、項ずれへの対応のため、所要の改正を行う。

▼議案第28号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

懲戒権関係規定の削除を行うとともに、項ずれへの対応のため、

め、所要の改正を行う。

▼議案第29号 国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の見直しに伴い、所要の改正を行う。

▼議案第30号 市立図書館条例の一部改正

開館時間および休館日に関する所要の改正を行う。

▼議案第31号 公園条例の一部改正

市総合運動公園内の新規施設整備に伴い、当該施設の名称、休場日、使用料等を設定するため、所要の改正を行う。

▼議案第32号 手数料条例の一部改正

スマートフォン用電子証明書のコンビニ交付サービスの順次開始に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第33号 印鑑条例の一部改正

印鑑登録証明書の交付に関する改正を行うとともに、スマートフォン用電子証明書によるコンビニ交付サービスの順次開始に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第34号 廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正

指定ごみ袋のサイズ追加にあたり、手数料を定めるため、所要の改正を行う。

▼議案第35号 駐車場条例の一部改正

港駐車場と駅前地下駐車場の営業時間・使用料の見直しを行うとともに、大手町第二駐車場の営業を令和4年度末で終了するため、所要の改正を行う。

▼議案第36号 景観条例の一部改正

景観計画の改定に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第37号 市民会館条例の制定

新市民会館の位置及び管理に関する事項を定めるため、条例を制定する。

▼議案第38号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

基準の一部改正に伴い、安全計画策定に係る規定を追加する。

▼議案第39号 市立小中学校の児童及び生徒に係る学校給食費無償化に関する条例の制定

▼議案第40号 総合整備計画の策定(本島町辺地)

学校給食費の無償化に関し、新たに条例を制定する。

▼議案第41号 総合整備計画の策定(広島町辺地)

本島町辺地および広島町辺地整備のための総合整備計画策定について、議会の議決を求める。

▼議案第42号 モーターボート競走施行に係る事務の受託に関する協議

香川県中部広域競艇事業組合から令和5年度および6年度も引き続き事務委託の申し出があったため、議会の議決を求める。

▼議案第43号 令和5年度一般会計補正予算(第1号)

▼議案第44号 市民福祉医療費助成条例の一部改正

県乳幼児医療費支給事業の助成対象年齢拡充に伴い、所要の改正を行う。

▼議案第45号 健やか子ども基金条例の一部改正

県補助金の予算案可決に伴い、基金の失効日を変更するため、所要の改正を行う。

▼議案第46号 工事請負契約の締結(仮称)みんなの劇場新築工事

制限付き一般競争入札により、大成建設・第二建築・豊嶋建設特定建設工事共同企業体と

仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

▼議案第47号 工事請負契約の締結（仮称）みんなの劇場新築に伴う空調設備工事）

制限付き一般競争入札により、川崎・梶原・山野特定建設工事共同企業体と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

▼議案第48号 工事請負契約の締結（仮称）みんなの劇場新築に伴う電気設備工事）

制限付き一般競争入札により、日本電設・中央・吉本特定建設工事共同企業体と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

▼議案第49号 工事請負契約の締結（仮称）みんなの劇場新築に伴う舞台機構設備工事）

制限付き一般競争入札により、森平舞台機構株式会社と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

▼議案第50号 工事請負契約の締結（仮称）みんなの劇場新築に伴う舞台照明設備工事）

制限付き一般競争入札により、松村・四建建設共同企業体と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

▼議案第51号 工事請負契約の締結（仮称）みんなの劇場新築に伴う給排水設備工事）

制限付き一般競争入札により、管電・飯綾特定建設工事共同企業体と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

▼諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦

## 質疑

### 次世代育成基金の継続性の保障は

**Q** 中谷議員 給食費無償化の財源として毎年約4億円取り崩すこととなるが、給食費無償化は恒久的な事業であり、安定的な積立額をどう設定しているか。

**A** 総務部長 モーターボート競走事業の令和3年度利益剰余金から一般会計に繰り入れた50億円全額を基金に積み立て、市内公立小中学校の給食費無償化等にかかる財源として担保し、新年度においても5億円を積み立てる。次年度以降も基金残高50億円を目的に確保を図りたい。

## QRコード

ぜひご覧ください。



バーコードリーダー対応のスマートフォンなどで撮影すると、動画が流れます。



1. スマートフォンでQRコードを読み取ります。  
バーコードに対応しているスマートフォンでバーコードリーダーを起動し、QRコードを撮影します。
2. URLや情報が表示されます。  
表示されたアドレスをクリックすると、議員の質問を動画で見ることができます。

機種によって異なります。  
詳しい使用方法是、ご利用のスマートフォンの取扱説明書等をご確認ください。

# 新年度の市政を問う!

# 代表質問

## 志政会

質問者  
真鍋順穂



### 未来のまちづくりビジョン

**Q** 官民で描く大手町地区の未来ビジョンとそのタイムテーブル、また、多極分散型まちづくりのデザイン策定は。

**A** 都市整備部長 まちなか再生に向けて活動していくためのエリアプラットフォーム組織を令和5年度に立ち上げ、翌年10月を目標に取りまとめた未来ビジョンに基づき、取組みを開始したい。その後は、居心地のいい公共空間の形成や、その利活用による魅力、にぎわい創出等に取り組む。また、多極分散型のまちづくりでは、現



まちなか再生への道筋は

行の都市計画マスタープラン立地適正化計画でもコンパクト・プラス・ネットワークの考え方に基づく持続可能なまちづくりを進めることとして

### 会派メンバー

東	由美・廣田	勝也
武田	孝三・香川	勝
川田	匡文・竹田	英司
三宅	真弓・多田	光廣
真鍋	順穂・横田	隼人
山本	直久・大前	誠治

代表質問

### 総合排水計画

いるが、令和6年度頃から策定する次期マスタープランでは、未来ビジョンに描く中心市街地の未来と整合の取れた各地域の未来を検討し、将来を見据えた市全体のグラウンドデザインを明確化していきたい。

### Q

近年、本市では、台風等の集中豪雨や異常出水による宅地、農地、道路等の冠水被害が生じた。全市的な排水対策を取りまとめる総合排水計画策定後の動きと国の推奨する郵便局を活用した物資の備蓄・配送について、市の見解は。

### A

市長公室長 総合排水計画の計画期間はおおむね10年間程度を想定しており、短期・中期的な事業と長期的な事業に優先順位を定め、現在実施中の局所的な排水対策とも整合性を保ちながら、令和6年度以降、並行して整備に取り組んでいく。郵便局との連携は、有事の際の

物資拠点、特に配送網としての経験値が高いことから非常に有効と考えるため、今後は、丸亀郵便局と情報共有を図りながら連携し、協議を進めていきたい。

### モーターボート競走の社会貢献活動

### Q

モーターボート競走事業は本市の財政運営安定化に大いに寄与している。社会貢献活動の一環として、収益金の一部を外部組織へ拠出する考えは。

### A

モーターボート競走事業管理者 ボートレーズの収益は、市の様々な事業の財源の一部として活用されているほか、日本財団を通じて子育て支援事業や障害者支援事業、貧困対策事業など、国内外への事業支援を行っている。また、瀬戸内オーシャンズX事業や中讃地域の病院群輪番制に参加する基幹病院への寄付など、今後も独自の社会貢献、地域貢献に努め、市民福祉への寄与を継続していく。

# 代表質問

## 市民クラブ



質問者

加藤 正員



会派メンバー

渡邊 一馬・守家 英明  
角野 仁美・横川 重行  
加藤 正員・大西 浩

代表質問

### コミュニティの活性化

定年年齢の延長により、コミュニティの担い手不足、役員の高齢化、後継者不足などの問題がより深刻になる。今こそ市長が直接出向いて、コミュニティの役員たちの抱える問題や打開策に向き合う姿勢を見せるべきと考えるが、いかがか。

Q

市長 今後も地域行事への参加の機会などを利用してコミュニティの声に耳を傾け、地域の実情や課題の把握に努め、先進的な事例について情報共有を図ること

A

市は、新年度から重層的支援準備室を設置する。この事業展開に社会福祉協議会の役割は大変重要だと考えるが、市との連携は。また、令和7年度のスタートではどのような体制になるのか。

Q

で、コミュニティを側面的に支えたい。そして、コミュニティが地域の実情に応じたまちづくりを主体的に進められるような将来像とともに考え、その実現に向けて取り組んでいく。

### 重層的支援体制

健康福祉部長 本事業を実施するためには、

A

市と社会福祉協議会が一体となつて取り組んでいく必要があり、多機関での協働体制構築に関する業務を市社会福祉協議会に委託している。今後、包括的相談支援体制を構築することで、複合課題等に対応が困難な場合も多機関協働事業につないで支援ができるようになる。

### 有機農業の推進

昨年12月、本市の学校給食に初めて有機野菜が使われた。今後は有機野菜の供給体制充実とオーガニック給食の拡充が重要になると考えるが、そのためには、有機農家の増加や供給体制の充実、消費者の需要喚起などが必要となる。今後の方向性は。

Q

産業文化部長 本市では、子育て世代を中心に食の安全・安心に対する関心が高まりつつあり、その中でも化学農薬や化学肥料を使用しない有機農業への期待が高まっていることから、有機

A

JAS認証を受ける農業者に対し、認証取得に係る経費の2分の1(上限15万円)を補助する有機JAS取得費補助金や県で認定を受けたエコファーマーおよび農業者が必要な土作り等にかかる経費の2分の1(上限25万円)を補助する環境に優しい農業推進事業補助金を創設し、有機農業および環境負荷低減に取り組もうとする農業者の増加を目指したい。



有機JASマーク

会派を代表する議員が、市長の市政方針、新年度予算、その他市政全般に関して質問を行っています。

## 公明党



質問者

内田 俊英



会派メンバー

福部 正人・内田 俊英

### 校則の見直し

**Q** 文科省は、生徒指導提要の改訂を行い、校則の運用は絶えず積極的に見直すこと、また、見直し課程には児童・生徒らが関わることを望ましいとしたが、本市での対応は。

**A** 教育長 生徒指導提要では、学校の実情を踏まえ、その特徴を生かしながら創意工夫ある校則の定め方をすることが求められている。市内の中学校では、生徒会が主体となって見直しを提案し、生徒総会の議決により、いくつかの校則が見直された事例もある。本市では今

後も、児童・生徒の自尊感情や自己有用感を高め、相手の意見や互いの多様性を認め合う学校、学級風土を醸成しながら、基本的人権に十分に配慮し、一人一人を大切にしたい教育に努めていく。

### 古くなった学校図書

**Q** 古くなった図書は、学校図書廃棄基準に基づいて処分されるといふルールがあるが、廃棄の方針決定は誰がしているのか。

**A** 教育長 廃棄については、公益社団法人全国学校図書館協議会が定めた学校図書館図書廃棄基準に基づき、学校司書及び司書教諭が

中心になって、学校ごとに定期的に蔵書の見直しを行い、決定している。学校司書には、学校司書研修会等で、児童・生徒が正しい情報に触れる環境整備等の観点から図書の廃棄・更新を行う必要性を周知し、選書に偏りが生じないように学校分野や校種ごとに

情報を共有し、連携を図っている。

### がん検診の推進

**Q** 2人に1人ががんを経験する時代。早期発見へ、具体的にどのような施策が講じられているか。メンタルケアや患者、体験者の声を活用するなど、新機軸を企画、実行してはどうか。

**A** 健康福祉部長 市では、早期発見・早期治療を目的に、国の指針に基づいたがん検診に加え、35歳の女性を対象とした乳がん検診を実施している。また、インターネット予約など、受診しやすい環境づくりや市内保育所、幼稚園、小・中学校を通じた受診勧奨チラシの配布など、市民の受診意欲の向上に努めている。新年度も、様々な視点から工夫を図るとともに、がんになっても自分らしく生きるができるよう、相談支援や情報提供、がんとの共生のために必要な支援を検討していく。



学校図書は適切に入れ替えられています

総括質疑

15人の議員が市政を問う

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

■ 武田孝三

- ①市職員のキャリア形成②中讃救急医療体制③情報発信戦略

■ 廣田勝也

- ①デマンド交通②スケートボードパーク

■ 大西 浩

- ①賃上げ②デジタル技術による地方創生③定員適正化計画

■ 横田隼人

- ①企業誘致②公共事業③たばこ税

■ 香川 勝

- ①安全・安心な学校づくり②文化施策

■ 横川重行

- ①姉妹都市協定②子どもの健康・食育等③危機管理④創業支援と中小企業支援⑤人口減少対策

■ 山本直久

- ①延寿閣別館②多目的広場等③残菜堆肥化④廃食油⑤シェアサイクル

■ 三宅真弓

- ①日本女性会議②アピアランスケアサポート③韓国プロ野球チーム誘致

■ 角野仁美

- ①スポーツ振興②プロスポーツ団体との交流③丸亀ハーフマラソン④育児支援

■ 福部正人

- ①市営住宅②空き家対策③フリマアプリの活用④高齢者支援策⑤コミュニティバス

■ 渡邊一馬

- ①医療的ケア児支援②ヤングケアラー③女子サッカー

■ 守家英明

- ①臨時給付金②ふるさと納税③防災対策④学校周辺整備⑤垂水橋

■ 中谷真裕美

- ①物価高騰対策②給食無償化③ギャンブル依存症予防④高齢者の移動手段

■ 神田泰孝

- ①丸亀城石垣修復プロジェクト②合併20周年記念事業③情報発信④ヤングケアラー

■ 水本徹雄

- ①観光施策②公共施設予約③子ども家庭庁④ヤングケアラー⑤駅周辺と駅北エリア

総括質疑

小児の夜間救急体制整備は



武田孝三議員



四国子どもとおとなの医療センター

中讃医療圏域では、本市医師会のほか3つの医師会と、3市5町で構成する病院群輪番制により、休日当番医などの救急医療体制が構築されている。一方、夜間対応は子どもとおとなの医療センターのみとなり、継続が懸念される。中讃圏域での体制整備が必要と考えるが、市の見解は。



A

健康福祉部長 こどもと

おとなの医療センターでの夜間初期救急は、中讃地域からの受診者が7割を超えており、その5割近くが本市からの受診者といわれている。このことから、本市にとって夜間小児初期救急は重要かつ十分な検

討を必要とする課題であると考えている。今後は、県や中讃保健福祉事務所、近隣市町との協議のほか、地区医師会との連携を図りながら、夜間小児初期救急のあり方を検討し、市民が安心して子育てができるよう体制整備に努めていきたい。

## デマンド交通を 手軽に気楽に

Q



廣田勝也議員

デマンド交通の利用者は、高齢者の割合が非常に高いと思われる。できるだけ簡単に予約できるシステムを導入する必要があると考えるが、本市の考えは。



誰もが利用しやすい公共交通を目指して



A

**都市整備部長** 一般的なデマンド型交通の予約方法はスマートフォンアプリや専用ダイヤルだが、先進地では、スマートフォンやアプリケーションに抵抗感のある利用者のため、電話予約に対応しているケースもある。できるだけ多くの

人にデマンド型交通を感じていただくためにも、乗車前の煩わしさから利用を控えることのないよう、若い世代から高齢者まで様々な世代の利用を想定し、誰もが手軽に予約ができるアプリケーションと電話の併用を基本としていきたい。

## 賃上げ支援で 市民生活の改善を

Q



大西 浩 議員

働く人たちを取り巻く環境はコロナ禍、物価高、円安の三重苦で大変厳しく、賃金が上がらなければ、消費は落ち込み、年金も上がらない。だからこそ、行政があらゆる施策を駆使し、賃上げの流れを支援すべきと考え、市の見解は。また、賃上げ実現のために、市は何をするのか。



賃上げが基本です



A

**産業文化部長** 新型コロナウイルス感染症による影響の長期化や原油、物価高騰など、様々な問題に直面する中、賃上げで一人一人の可処分所得を増額することは、消費の拡大、結果的には景気回復につながることを認識している。市では、国や県

による賃上げ促進に関する情報を市内企業に適宜提供するとともに、産業振興支援補助制度を充実、活用することで、非正規雇用労働者を含めた労働者のスキルや生産性の向上を図り、市内企業が賃上げしやすい環境整備につなげるよう努める。

## 企業誘致で まちを元気に

Q



横田隼人議員



企業誘致で丸亀が選ばれるには

コロナ禍による生産の国内回帰、サプライチェーンの再構築、経済の回復など、企業誘致の好機が訪れている。県が新年度に提案している工業団地整備への助成制度に上乘せし、災害が少なく温暖な香川県にやってくる企業を「香川なら丸亀で」と導く市のインセンティブを考えてはどうか。



A

**市長** コロナ禍の影響で働き方が変化し、企業の地方移転が加速している。今後は企業誘致による移住促進や地域経済の活性化など、多くの期待が持てるものと認識しているが、本市の財政状況や空き用地的状況から、行政主導での工業

団地の開発は厳しいと考える。今後は県と連携し、情報収集や状況把握に努めるとともに、民間企業による工業団地整備の動向が見られる場合には、年度途中でも柔軟かつ機動的な対応をしていきたいと考えている。

総括質疑

## 学校内外の 安全管理体制は

Q



香川 勝議員



子どもたちの安全は学校だけでは守れません

学校施設は学びの場であるとともに災害時の避難所ともなるため、老朽化対策をはじめとする安全管理は、教職員、保護者、地域、自治体など学校内外の関係者がそれぞれの視点を生かして行うべきと考える。学校内外の体制整備を含め、安全管理の取組みについて、市の見解は。



A

**教育長** 学校安全の推進は、学校だけでなく、学校種や地域の特性に応じた地域全体での推進体制の構築を図る必要があり、保護者、地域、関係機関との連携は重要と考える。本市では、中学校群ごと小・中地域連携教育連携協議会

や小学校の地域学校協働本部、地域コミュニティ、警察や消防等の関係機関との連携により、子どもたち自ら安全を守る意識を高め、安全に活動できる環境を整えており、今後も地域全体で子どもを見守り育てる環境づくりに努めていく。

## 地元中小企業の 支援充実を

Q



横川重行議員

デジタル技術の革新や脱炭素への対応に加え、感染症拡大などの不確実性の高まりが中小企業の経営に大きな影響を与えている。この経営環境の変化に柔軟に対応するため、自己変革力を身につけ、潜在力を最大限発揮する必要があるが、地元中小企業を応援し、発展を促す施策は。



多様な産業への支援が必要です

A

**産業文化部長** 市内に施設を設置する企業に奨励金を交付する企業立地促進奨励制度、中心市街地の空き店舗などの改装費の一部を補助する空き店舗・空きオフィス等活用促進補助金、人材確保・定着・育成のほか、販路開拓、ブランド

開発などの補助を行う産業振興支援補助制度があるが、令和3年度からは企業立地促進奨励制度の拡充を行い、来年度は産業振興支援補助制度にデジタル化のメニューを新たに設け、業務効率化や生産性向上を促し、予算も増額する予定である。



## 延寿閣別館の 城泊について

Q



山本直久議員

丸亀城三の丸延寿閣別館城泊推進事業で、先日、歴史的資源を活用した観光まちづくりセミナーがあり、市民にも延寿閣別館の認識は広がっているが、延寿閣別館の歴史を知る市民はまだ少ないと感じる。延寿閣別館の歴史と建物の魅力の説明を。また、本事業をまちづくりにどう繋げていくのか。



延寿閣別館

A

**教育部長** 延寿閣別館は昭和8年の延寿閣建設の際、京極家の東京屋敷内の建物を寄附いただき、貴賓室として移築・整備したもので、天井部材の屋久杉の一枚板、装飾の見事な欄間やふすまなど、当時の技術の粋を尽くした建築的な魅力

があり、京極家の歴史が色濃く残っている。本事業は地域に眠る歴史的建造物の活用とともに、独自の地域資源を活用した体験型コンテンツを本物志向の観光客に提供し、通過型から滞在型観光への取組みを進め、観光客と地域消費の増加に努めていく。



## 日本女性会議を 丸亀で



三宅真弓議員

日本女性会議は1984年以来、毎年開催されている全国規模の催しで、開催を通して市民と行政は男女の別や立ち位置の違いを超えて、関係性をより深めることになる。市長は市政方針でまちづくりや方針決定の場にも女性が参加する市をつくるとしている。本市で日本女性会議を開催する考えは。



昨年は鳥取県倉吉市で開催されました

### A

**市長** 本市での日本女性会議の開催は、性別や世代を超えた議論を深めることで、市民や企業等の理解促進や主体的取組みにつながるなど男女共同参画の推進に大きな効果が期待でき、本市の魅力の全国発信や活性化にも寄与することから、令

和9年度の開催を目指したい。

開催には施設確保のほか、企業や行政と連携しながら運営を主体的に担う市民や団体等の育成が重要であるため、女性リーダー育成講座など市民への啓発や育成を通して意識の醸成や人づくりなどの基盤づくりを進める。

## スポーツ人口の 広がりを



角野仁美議員

市はスポーツ振興をどの程度重視しているか。また、現在の各種運動やスポーツ事業に参加する人を増やす仕掛けや取組み、周知は。



整備中の屋根付き広場と多目的広場

### A

**市民生活部長 第3次丸亀市スポーツ振興ビジョン**では、スポーツで一人一人が健康いきいき、活気あふれるまち丸亀を将来像に掲げており、スポーツ振興は本市のまちづくりに横断的に関わる重要な施策であると考える。また、初心者でも気軽に参加し、楽しみながら運動できるイベント等を開催するとともに、丸亀市総合運動

公園内に多目的広場や屋根つき広場、スケートボードなどを気軽に楽しめるエリアもオープン予定であり、環境づくりにも取り組んでいる。さらに、ウォーキングマップの公共施設等への配布や各地区のコースを広報紙で紹介するなど、様々な媒体で周知に努め、スポーツ人口の裾野を広げる取組みをしている。

## 一步踏み込んだ 空き家対策を



福部正人議員

住宅を売却すると、土地の固定資産税を減額する住宅用地特例が解除され、税額が高くなることから空き家増加の一因であることから、先進自治体では、売却後の土地の固定資産税の増額分を数年間減免する制度を導入している。本制度は空き家の放置解消に有効と思いが、導入の考えは。



放置された空き家が問題です

**A**

都市整備部長 空き家対策として所有者等の不安

を軽減し、売却を後押しできる取り組みも必要と考えており、売却による税負担の増加を心配する声もあることから、売却後の土地の固定資産税を減免する制度は空き家の売却の推進に一定

の効果があると考えます。一方、減免制度の創設による固定資産税の減収が市の財政に与える影響などについても考慮する必要があることから、先行自治体も参考に、制度創設の効果や影響を調査研究し、関係部署とともに慎重に検討する。



## 医療的ケア児の 受入れ体制は



渡邊一馬議員

今後、医療的ケア児の状態や成長に合わせた支援が必要と考えるが、小学校での受入れ体制の整備についての見解は。



一人ひとりに合った体制

**A**

教育長 文部科学省で作成された小学校等における医療的ケア実施支援資料をも

とに、現在、市教育委員会でも小・中学校でガイドラインの作成等を検討している。就学にあたっては、本人、保護者の意向を最大限に尊重し、市教育支援委員会において、個人の年齢、能力、特性を踏まえた適切な教育が受けられる就学先を総合的に判定し、決定している。また、保護者の理解と協力のもと、就学前施設と小学校・中学校との間で医療的ケア児に関する情報共有が確実にできるような体制を整備し、各小・中学校で児童・生徒の実態や発達に合わせた医療的ケアが実施され、教育のさらなる充実が図れるよう努める。



## ふるさと納税 増加への戦略は

Q



守家英明議員

ふるさと納税は寄附による収入だけでなく、本市の魅力を全国に発信できるメリットがあるが、本市の納税件数および金額はともに県内の市での順位は低下しており、2021年度では最下位である。低迷理由を分析して、抜本的な見直しや斬新な発想での戦略が必要では。



丸亀の魅力の伝え方が大事です

A

市長公室長 現在、専門

性の高い民間事業者に委託し、効果的なPRや新たな返礼品の開拓などに取り組んでおり、効果が出てきている。令和5年度は、ポータルサイトでの検索時に本市返礼品を上位に表示することやQRコード付きのポスターやチラシの作成などの

広告宣伝を強化する。また、市長のトップセールスや、事業者へのふるさと納税の説明会の開催、観光客が店舗などで支払っている現地決済型ふるさと納税システムの検討など、先進自治体も参考に、効果的な手法を委託事業者とともに進めたい。

## 高齢者の移動手段 確保について

Q



中谷真裕美議員

新年度から75歳以上のコミュニティバス無料化が歓迎される一方、身近にバス停がなく利用できないなどの声も多い。バス路線・便数の拡充とともに、デマンド交通やボランティアのお出かけ便、タクシージェットの支給など様々な事業を重ねて、高齢者の移動手段確保を進めるべきではないか。



高齢者にやさしい移動手段を

A

都市整備部長 超高齢社

会の中で、多様な高齢者の移動ニーズを満たすことは難しくなっている。現状ではコミュニティバス、お出かけ便、免許返納者へのタクシージェット配布など、様々な分野で複合的な効果をもたらす施策展開を図

っているが、新年度には新たにデマンド型交通の実証実験も予定しており、移動の利便性向上を期待している。当面は、コミュニティバスの75歳以上運賃無料化とデマンド型交通の利用で、高齢者の移動手段の確保を図っていく。

## ヤングケアラー 相談窓口の開設を



神田泰孝議員



相談しやすい窓口にするためには

Q ヤングケアラーは、個人情報や各家庭の問題のためアウトリーチが難しく、また専門窓口もなく、原因が多重構造であることから、現状では支援が届かない子どももいる。ヤングケアラー専門の相談窓口、相談電話があれば、早い段階でフォローできる体制が整うと考えるが、開設について市の考えは。



A **健康福祉部長** ヤングケアラーの相談先を明確にし、早い支援につなげるための専用相談窓口の開設は、一定の有効性があり、今後の検討部分である。一方で、本人が気づかない、また家庭内の実情が外部から分かりにくいといった問題

から、周囲が気づきにくい実態があるため、現在のところヤングケアラーに特化した窓口とせず、関係部署の各窓口において、ヤングケアラーへの意識を持ち、丁寧に関き取りすることで早期発見や必要な支援につながるよう体制の充実に努める。

## 丸亀駅周辺の 展望について



水本徹雄議員



県道204号丸亀停車場線

Q 近年、丸亀駅南側には県道204号丸亀停車場線の歩道拡幅など、新たな活性化の兆しも見られるなか、新市民会館の完成に向け、県道204号を中心とした駅周辺エリアの魅力や価値を高め、持続的にぎわいにつなげる必要と考えるが、そのビジョン・計画は。



A **都市整備部長** 県道204号丸亀停車場線は道路空間の再編後に新たな出店が見られ、歩道空間の有効活用によるにぎわい創出の可能性もある。また、新市民会館の開館により駅との往来などで新たな人の流れが生まれることから、街路空間を車中心から人中心に再構築

し、人々が集い、憩う多様な活動の場所としていくことで、新たなにぎわいを創出したい。今後、官民連携まちなか再生推進事業の活用と連動して進めていき、お城から港までの一帯を滞在快適性等向上区域に指定していく。

# 委員会審査

市長から提案された議案について、委員会ごとに審査しました。

委員会審査



## 教育民生委員会

### ■ 審査した議案

議案第26、29号、議案第38、39号

### 主な質疑

**Q 委員** 放課後児童健全育成事業に関し、安全計画で定める事項とは。また、バスへの置き去りなど、市内での事例は。

**A 教育部** 安全点検、安全指導、訓練・研修の実施、再発防止徹底などの事項を定めるものである。また、軽微な備品の損傷はあったが、置き去りやケガなどはなかった。

**Q 委員** 学校給食費無償化に関する条例の対象を、市立小・中学校とした根拠は。また、食材



季節を感じられる学校給食

費の物価変動に迅速に対応できると明文化した理由は。

**A 教育部** 学校給食センターが提供する給食そのものを教材と捉え、食育の充実を図り、物価が高騰しても子どもたちの安心で充実した食の環境を市が責任を持って整えることを示したものである。

**Q 委員** 市民福祉医療費助成に  
関し、こども医療費助成対象の  
引き上げにかかる費用と財源は。

**A 健康福祉部** 約8千万円と見込んでおり、次世代を育成する基金を活用する。

**Q 委員** 家庭的保育事業に関して、懲戒に係る権限の乱用禁止条項を削除することによる保育行政への影響は。

**A 健康福祉部** 民法等の改正により懲戒権の削除ならびに体罰等の禁止が定められたため、影響はないと思われる。

### 審査結果

議案はすべて原案可決。

## 都市環境委員会

### ■ 審査した議案

議案第30、37号、議案第40、41号

### 主な質疑

**Q 委員** 市民会館条例に、本市独自の特徴的な内容は含まれているか。

**A 産業文化部** 条例に規定する、本市民会館が行う事業のうち、年齢、性別等様々な違いに関係なく、社会参加の機会を拡充するための事業と幅広い分野の機関と連携し、社会的課題等に創造的な働きかけを行うための事業は特徴的なものである。

**Q 委員** 港駐車場の使用料引き下げに伴う収入の試算と、駅前地下駐車場の使用料を据え置きとした理由は。

**A 都市整備部** 港駐車場は、約300万円の収入減を見込んでいる。また、駅前地下駐車場は、エレベーター改修や維持管理費の負担が他の駐車場よりも高額となっていることから、据え置きとした。

## 議会の動き

1・2・3月

### 1月

- 11日 教育民生委員会協議会
- 17日 丸亀城西高校との意見交換会
- 19～20日 全国市議会議長会プラス  
チック特別委員会  
正副委員長会議および現地調査
- 25日 教育民生委員会協議会
- 27日 議会運営委員会  
広報広聴委員会

### 2月

- 2日 丸亀高校との意見交換会
- 3日 全員協議会  
各派会長会  
総務委員会協議会
- 6日 市民会館整備特別委員会
- 7日 香川県市議会議長会 議員研修
- 16日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会  
教育民生委員会協議会
- 27日 本会議  
予算特別委員会

### 3月

- 1～3, 6日 本会議
- 7日 本会議  
広報広聴委員会
- 8日 教育民生委員会  
教育民生委員会協議会  
都市環境委員会
- 9日 総務委員会
- 10, 13～15日 予算特別委員会
- 16日 予算特別委員会  
議会運営委員会
- 22日 市民会館整備特別委員会  
広報広聴委員会
- 24日 本会議  
全員協議会  
総務委員会協議会  
都市環境委員会協議会
- 30日 各派会長会  
議会運営委員会



港駐車場

**Q 委員** 総合運動公園屋根付き広場の利用者層と稼働率の見込みは。また、使用料の根拠は。

**A 市民生活部** 平日夜間と週末は、7～8割の稼働率を目指している。平日昼間も、高齢者等の利用を見込んでおり、十分な周知に努めたい。使用料は、市民球場の屋内練習場の使用料をもとに算出した。

### 審査結果

議案はすべて原案可決。

## 総務委員会

### 審査した議案

議案第24～25号、議案第42号

### 主な質疑

**Q 議員** 個人情報保護法施行条例に関し、現条例では情報公開・個人情報保護審査会の意見を聴くことになっている個人情報報のオンライン結合について、新条例での取扱いは。また、現

条例では保護対象である死者の個人情報、新条例では守られないのか。

**A 市長公室** オンライン結合は、個人情報保護法上の規定がなく、新条例では審査会に諮問するようになっていないため、個人情報保護委員会の助言・監督のもと、適正に判断する。また、新条例では、死者の個人情報は個人情報として取り扱わないが、相続人に関する死者の情報の場合、相続人が生存する個人となるため、厳正に配慮する。

### 審査結果

議案はすべて原案可決。

# Grüün Moovvi

3月23日、ポートルースまるがめ北広場にオープン予定の「Grüün(グリーン)」と「Moovvi(モーヴィ)」を視察しました。Moovviには、乳幼児から全身を使って遊べる屋内外の遊具、Grüünには誰もが利用できるパークセンターが設置され、これまでにない新たな空間が広がっています。

親子で居心地よく過ごせる施設の誕生で、本市がますます子育てしやすいまちになることを期待しています。



## 総務委員会 視 察 教育民生委員会

### 富熊小学校

3月28日、長寿命化のための大規模改修が完了した富熊小学校を視察しました。教室などはフルリフォームし、エレベーターを新設。家庭科室

には、車いす等での利用を想定した高さ調節可能な調理台を導入し、すべての階に多目的トイレが設置されるなど、子どもたちの心と体の成長に寄り添う、ユニバーサルデザインに配慮した学校施設が整備されました。



市  
内  
視  
察

議員提出議案第1号

丸亀市議会の  
個人情報保護に  
関する条例

賛成多数で可決

令和5年3月定例会にて、市議会の個人情報保護に関する条例の制定が提案され、討論の後、賛成多数で可決しました。

これは、デジタル社会の形成を図るための法律整備に関する法律が一部施行されることにより、個人情報の保護に関する法律が改正され、その対象外となる議会独自の個人情報保護制度を設けるため、制定するものです。

人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり。

(敬称略)

▼人権擁護委員

中府町 森 節代

令和5年3月定例会

賛否が分かれた議案等の審議結果

議案名・審議結果	議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
		渡邊 一馬(市民クラブ)	守家 英明(市民クラブ)	角野 仁美(市民クラブ)	中谷真裕美(会派無所属)	東 由美(志政会)	神田 泰孝(会派無所属)	水本 徹雄(会派無所属)	岡田 剛(会派無所属)	廣田 勝也(志政会)	武田 孝三(志政会)	香川 勝(志政会)	川田 匡文(志政会)	横川 重行(市民クラブ)	加藤 正員(市民クラブ)	大西 浩(市民クラブ)	竹田 英司(志政会)	三宅 真弓(志政会)	多田 光廣(志政会)	福部 正人(公明党)	内田 俊英(公明党)	真鍋 順穂(志政会)	横田 隼人(志政会)	山本 直久(志政会)	大前 誠治(志政会)
議案第15号 令和5年度丸亀市一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号 令和5年度丸亀市モーターボート競走事業会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号 丸亀市個人情報保護法施行条例の制定について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は除斥または欠席した者です。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

討論

《議案第15号に反対》

中谷真裕美

・学校給食調理業務とごみ収集業務における民間委託は、民間委託自体を目的とするのではなく、合理的な税金の使い方を検証し、見直しを図るべき。

・多様な人権課題があるなか、1団体の人権問題推進活動委託料を支出することは改めるべき。

・国の施策だが、自治体の情報システム標準化・共通化に係る委託料は、これまでの国と自治体との在り方を変え、地方自治を侵害し、医療扶助のオンライン資格確認導入事業に係る業務委託料は、個人情報やプライバシーを侵害する問題をはらむ。

《議案第23号に反対》

中谷真裕美

・若年層へのギャンブル依存症対策は十分ではない。

《議案第24号に反対》

中谷真裕美

・オンライン結合への制限が緩和され、情報の外部提供が市民に不透明になり、自分の情報のコントロール権が侵害される恐れがある。

《議員提出議案第1号に反対》

中谷真裕美

・議案第24号と同様に個人情報保護の規制が緩くなる。

理由

理由

理由

理由

## プラスチックごみ問題 全国市議会議長会特別委員会が現地調査

1月20日、多田議長が副委員長を務める全国市議会議長会「海洋プラスチックをはじめとするプラスチックごみ問題に関する特別委員会」が本市を訪れ、現地調査を行いました。

プラスチックは、軽量で丈夫なうえ、加工しやすく安価であることから、様々な製品に使用され、広く普及してきました。しかしながら、生産量に対して適正にリサイクルされている量が少なく、ほとんどがごみとして排出、その一部は海洋等へ流出しています。

本市では、瀬戸内オーシャンズXの活動や市の取組みについての報告が行われ、委員会からは後日、国への要望と国および地方自治体等への提言が行われました。



## 編集 後記

コロナ禍の約3年間を経て、私たちの生活は大きく変容しています。

地域の文化・風習が見直され戸惑いもある中、世代を超え、順応性を求められる新しい社会へと進みつつあります。

同時に、人と接する分野で、臨機応変な対応を求められながらも活躍されている方々への感謝の念を忘れてはならないでしょう。

先般のWBCでは、国を背負い、力と力の勝負を魅せるメジャーリーガー、そして侍ジャパンの勇姿に、私たちは熱狂しました。「人を育てる」という観点で行われた栗山監督の日本らしく、グラデーシヨンの効いた選手起用。

MVPの大谷選手をはじめとする選手を、一喜一憂しつつも辛抱強く信頼する懐には、多々見習うべき視点があります。新年度を迎え、全国で統一地方選挙が執行されています。生活に直結した、自らで選択できる貴重な機会です。

侍JAPANの勇姿同様、次世代への責任を果たすべき大人の後ろ姿を、子どもたちは見ているはずです。

広報広聴委員 武田 孝三

